



主な内容

子どもの安全を守る	2 ~ 7
市民意識調査の結果	8 ~ 9
お知らせ	10 ~ 11
掲示板	12 ~ 13
情報BOX	14 ~ 17
えな自慢	18



今月の写真

岩村町本通りで3月23日、岩村町社会資本整備総合交付金事業の完成を祝うテープカットが行われました。その長さは、なんと1.3㎞。約1,200人の参加者は、一斉にテープを切り、喜び合いました。このテープカットは、日本一記録をデータ化するウェブサイト「日本一ネット」に認定されました。



▲見守りの依頼を録音する小学生

■本年度の放送のパターン

放送内容	放送日
定時	平日
入学式	4月7日(日)
夏休みの始まり	7月19日(金)
夏休みの終わり	8月25日(日)
冬休みの始まり	12月26日(木)
冬休みの終わり	1月7日(火)
春休みの始まり	3月26日(水)

●子どもたちが自ら録音
放送は、子どもたちの気持ちで伝わるように、小学生が実際に録音し、放送しています。毎年、違う小学校の児童らが1年分の放送内容を録音

●下校放送への意見を募集
下校の時間の放送へは、いろいろな意見をいただいています。
・大井町と長島町の放送は、小学校名を加えて放送すれば、学校の下校時間に合った放送ができる。
・学年ごとで下校時間が異なったり、徒歩通学とバス通学で時間が異なったりする。
・毎日放送がうるさいので、音楽だけにしたらどうか。
・放送を聞いて見守り活動をする人をもっと増やせないか。
市では、皆さんの意見を聞きなが

●平成20年から下校放送を開始
市では、市内の232カ所に設置してある屋外拡声子局（防災行政無線）と各家庭の音声告知器を使って、子どもたちの下校の時間を放送しています。
4月からは、岩邑小学校ら、6年生の声で放送しています。
また現在、夕方には「夕焼け小焼け」、昼間の下校時には「野バラ」の音楽に乗せて放送しており、下校のイメージを伝えていきます。
放送する時間は、地域によって異なっています。これは、行事などで下校時間がまちまちなためです。平日以外にも、土曜日や日曜日に行事がある場合は放送しています。また学校区が混在している大井小、大井第二小、長島小、恵那北小学校区では、夕方の午後4時に統一して放送しています。これは、放送の時間が異なると、どの学校の放送かの区別ができないことや、何度も同じ放送を耳にすることになるためです。

ら、よりよい見守り活動とあいさつ運動の方法を考えていきますので、意見をお寄せください。
□募集期間 随時
□提出方法 本紙に折り込みの広報直通便やファクス、電子メールなどで、①氏名②住所③連絡先（電話番号

号）を明記し、意見をお寄せください。見出しは「下校放送への意見」としてください。
申・問 〒509-17492（住所不要） 社会教育課 43-2112（内線343）、FAX 43-4137、E syakaikyoku@city.ena.lg.jp

子どもを守り育てるために声掛けをお願いします。



市青少年育成市民会議 運営委員長 近藤 達治 さん（中野方町）

子どもたちの下校時間が放送で流れることは、地域で定着してきました。子どもたちが通ると、畑のお年寄りの人たちが手を休めて「お帰り」と言います。子どもたちも元気に「ただいま」と普通に言い合えます。なかなかよその子に声を掛けることは難しいものですが、放送で「子どもたちから見守りをお願いされた」という意識が働き、大人も気軽に声が掛けられます。

昔、地域のおじさんやおばさんに褒められたり叱られたりしたように、子どもに目を向け、地域ぐるみで子どもを守り育てることが大切だと思います。下校の放送は、その一つの切っ掛けです。これからも全地域で、子どもたちへの声掛けを続けていきたいと思っています。

いつも声を掛けてくださり、ありがとうございます。今日も元気に下校します。



地域や学校の連携した取り組み

子どももの安全を守る

市内には、小学校が15校、中学校が8校あり、4232人の児童や生徒が通学しています。学校の行き帰りには、交通事故や痴漢や連れ去りなどの犯罪、大雨のときの水路の増水など、さまざまな危険が潜んでいます。
子どもたちの安全には、地域や学校、PTAなどが連携。見守り活動や安全マップの作成、学校での危険回避の訓練などさまざまな取り組みが行われています。
ここでは、それらの取り組みの一部を紹介します。

放送で見守りを呼び掛け

●平成20年から下校放送を開始
市では、市内の232カ所に設置してある屋外拡声子局（防災行政無線）

線）と各家庭の音声告知器を使って、子どもたちの下校の時間を放送しています。
市青少年育成市民会議運営委員会（以下、運営委員会）では、市社会教育委員会からの意見を受けて、平成19年に「防災行政無線で市民に下

校時間を周知して、住民が見守ることとで、子どもたちがより安全に下校することができないか」と発案。下校時の地域の方向の見守りと声掛け活動は、地域のつながりを深める効果があります。
運営委員会と市では、自治連合会や地域協議会、PTAなどに協力を呼び掛け、平成20年6月から下校の放送を始めました。

▶登下校の安全は市全地域の課題



地域の中の「危険」を知る

子どもたちの登下校の道や生活範囲内では、どこに危険が潜んでいるのでしょうか。各地域や学校などでは、危険箇所を見回ったり、地図に示したりして、危険の可能性を知らせています。また見守り活動やパトロールで、子どもたちが安全に過ごせるような取り組みも各地域で行われています。

危険箇所付き白地図を作成

大井町まちづくり協議会の防犯防災部会では、地域防犯パトロール隊を結成し、子どもの下校時にまち角



▲ばとまっぶに色鉛筆で通学する道を書き込む



▲作成したばとまっぶ

などで子どもたちの見守り活動をしています。この隊は、老人クラブや地域協議会、自治連合会、交通安全協会、大井恵那峡とんた節保存会など町内の多くの団体などで結成。下校時の見守りの他にも、夏休みや夜にもパトロールを行っています。防犯防災部会では、平成18年に地域の危険な箇所をまとめた「ばとまっぶ」を作成しました。恵那東中学校区の地図に、人通りが少ない場所や車が多い場所、大雨で増水する場所などが記されています。前年度、地域防犯パトロール隊に呼び掛け、見通しが悪い所や交通事故が多い所などを見直し、地図を更新

新。道が薄い色で印刷されており、子どもが自分の通学路を色で塗って、行き帰りの危険な場所が一目で確認できるように工夫されています。今後、大井小学校と大井第二小学校、恵那東中学校の生徒に配布される予定です。

行政やPTAが合同で点検

昨年の7月から8月にかけて、市内の全ての小学校の通学路の合同点検が行われました。これは、昨年4月以降、登校中の児童などの列に自動車が入り、死傷者が多数発生した痛ましい事件を受け、全国的に点検が行われたものです。

市内の点検は、市や県、警察、学校、PTAなどが協力して行われました。学校が抽出した危険箇所を基に、合同で点検。交通量や大型車が多い場所、見通しが悪い場所、大雨で増水する場所、木が生い茂って暗い場所、草が伸びると歩道が狭くなる場所など、あらゆる方向から点検されました。

点検では、合計177カ所の危険箇所を確認し、91カ所を対策が必要な箇所として報告。このうち4カ所は、カーブミラーを設置するなど既に対策が行われました。その他は、県や国に要望することも含め、計画的に対策を行っています。

全学校で危険箇所を地図に

市内の全小中学校では、学校で把握している情報や上記の合同点検の危険箇所を記した地図を学校別に作成しています。この地図を基に、子どもたちへの通学指導が行われています。



▲各学校で作成した危険箇所を記した地図

見守り隊を結成して声掛け

明智町では、「明智っ子笑顔見守り隊」を結成し、子どもたちの登下校の安全と安心のための見守り活動をしています。隊員は、老人クラブや地区青少年育成委員、PTA、地域の有志など77人が所属。子どもたちの集団登校に付き添ったり、下校時に家の前や、まち角などで子どもたちに声を掛けたりしています。

見守り活動は、元々は家から家の間隔が広い吉田小学校区だけで行っていました。青少年育成町民会議では、平成18年10月から明智小学校を含めた町全体で取り組むことを決

定。町全体に協力者を募り、現在まで活動を続けています。昨年7月には、この活動が認められ、市防犯組合連合会から防犯功労団体賞を受賞しています。明智町では、時代の流れとともに人と人との関係や地域のつながりが薄れていくのが懸念されています。声を掛け合う見守り隊の活動は、薄れた関係を取り戻す活動の一つとして役立っています。この他、地域の行事では、積極的に子どもに呼び掛けて、地域のまとまりをつくるよう努力しています。町では、毎年、年度末に、地域の取り組みを発表し合う「小集会活動」を行い、情報交換と町全体の交流を図っています。



▲見守り活動をする明智町の(左から)堀つゑさん、片桐三四(みよ)さん、堀五子(いつこ)さん

活動の継続は人生にプラス

毎日、車の通りが多くて危険な通りの四つ角で、子どもたちの下校を見守っています。見守り隊員を引き受けたばかりのときは、声を掛けるのが恥ずかしかったですが、声を掛けているうちに、子どもたちと心が通じ合うようになりました。まちで会ったときにも、にこっとあいさつしてくれます。

まち角にいと、子どもたちだけでなく、いろいろな出会いもあります。この活動を続けてきたことは、人生の中でプラスになっていると思います。



▲まち角で子どもたちに毎日声を掛ける明智っ子笑顔見守り隊の皆さん



▲危険な交差点を点検 (写真は武並町)



▲大声で「助けてえ」と言う練習をする

連れ去られない方法を学ぶ

明智小学校では、連れ去り防止教室を行っています。

4月16日、180人の全校児童を対象に開講。講師は県警「たんぼぼ班」の3人でした。最初は、「連れ去り事件にならないための約束「セーフティファイブ」の話。「一人にならない」「付いて行かない」「大声を出す」「近づかない」「話をする」の五つで、腹話術を交え、事例を挙げながら子どもたちに教えました。

2番目の話は、車に乗せられないためにはどうするかでした。「車の近くで遊ばない」「知らない人の車に乗らない」「乗せられそうになったら大声を出す」ことが紹介されました。



▲飯地小の児童らが通学路のすぐ脇の危険な斜面を確認

緊急時に子どもを引き渡す

連れて行かれないための方法も学びました。車に追い付かれない方法や、知らない人と距離を保つことを、児童らの代表2人がステージ上で体験しました。逃げることは、「だるまさんが転んだ」や「ハンカチ落とし」など、後ろの気配を感じる遊びなどで訓練ができることも紹介されました。

同校では、4月11日には命を守る訓練として、地震と火災による避難訓練を実施。児童たちは、連れ去り防止教室と併せて、自分の命は自分で守ることを学びました。

大井小学校では、引き渡し訓練を行っています。これは、大雨警報などの発令で緊急に帰宅が必要になったときに、児童を安全に保護者に引き渡す訓練です。

昨年、5月14日の訓練では、大雨警報の発令を想定し、校長が児童を保護者に直接引き渡すことを決定しました。保護者には、子どもの迎えを電子メールと連絡網を使って依頼。児童らには、急いで帰宅する必要があるため、帰る準備をするように伝えられました。職員室では、児童の帰宅準備の状況把握や保護者の迎えが難しい児童への対応などが行われました。

子どもたちが事件や事故に遭わないためには、自分たちで危険を知り、安全な通学方法を身に付けることが必要です。学校では、通学路の危険を目で確認する「通学路点検」や、知らない人に連れ去られない対策を学ぶ「連れ去り防止教室」、安全な自転車の乗り方を学ぶ「自転車安全講習会」など、さまざまな自衛の方法を教えています。

学校で危険と安全を学ぶ

子どもたちが事件や事故に遭わないためには、自分たちで危険を知り、安全な通学方法を身に付けることが必要です。学校では、通学路の危険を目で確認する「通学路点検」や、知らない人に連れ去られない対策を学ぶ「連れ去り防止教室」、安全な自転車の乗り方を学ぶ「自転車安全講習会」など、さまざまな自衛の方法を教えています。

子どもが自分の目で確認

飯地小学校では、児童らによる通学路点検を行っています。

4月12日、全校児童36人は、五つの分団に分かれ、地図を見ながら危険な場所を確認しました。次に集団登校をするときの目当てと、約束事を出し合いました。これらが決まると、5人の分団長は前に出て、決めたことを発表。「列を崩さない」「手をつないで歩く」「歩くスピードを一定に」「道路の白線から出ない」「雨の日は1列に並ぶ」などの約束事などが出されました。

この日は、下校の時間に合わせ、通学路を点検しながら帰りました。沢尻分団では、伊東愛望分団長を先頭に列を作って集団下校。途中、道路の横断で気を付ける場所や、足を踏み外すと危ない急な斜面がある場所、空き家がある場所などを確認しながら歩きました。他の分団でも、冬場に凍って滑る場所や、山道に枯れ葉が積もると滑る場所などを確認しました。



▲地図を見ながら危険な場所を確認

飯地小学校では、この日の他に、保護者と児童と教員が危険な場所を確認する日も計画しています。



▲連絡を受けて保護者が子どもを引き取る

保護者は、学校に着くと教室に行き、担任から直接子どもを引き取りました。担任は、引き渡し確認用名簿で児童の帰宅状況をチェックしました。

この訓練では、教員は学校が作成した緊急時の手引きを再確認して児童に指導。児童は安全に帰る方法を身に付け、保護者は、子どもの迎えなどの対応に理解を示しました。

同校では、ことしも5月にこの訓練を行う予定です。

自転車の運転者として自覚

山岡中学校では、自転車安全講習会を行っています。

4月11日、全校生徒124人を対象に講習会を開催。恵那警察署岩村

▼交差点での自転車のルールを学ぶ



交番の署員の講話や交通安全に関するDVDを鑑賞した後、グラウンドで市の交通指導員らが、交通ルールや正しい自転車の乗り方、乗り物の危険性を指導しました。

講話では、「自転車と人の事故では刑事、民事の責任を負うことになりません」と運転者の責任の大きさが話されました。交通指導員は「ルールとマナーを守ることが自分の命を守ることに繋がります」と運転者としての自覚を持つよう指導していました。

同校では、生徒の体力面や地域性を考慮し、4月から全校生徒に自転車通学を許可。ことし自転車通学する生徒は、79割に当たる98人です。

市民意識調査の結果

働く場の確保への不満が増加

市民の皆さんが市政の現状をどのように感じ、どのように評価をしているのかを聞き、今後の市政運営や後期計画の実施に当たっての基礎資料とするため、昨年12月に市民意識調査（アンケート）を行いました。この調査は、個別施策57項目について、施策に対する「満足度」と「重要度」を5段階で評価していただきました。また、これから市が行っていく事業などについての個別事項を伺いました。

今、市民の皆さんが市をどのように考えているのか、調査結果の一部を紹介いたします。詳細は、市役所情報公開コーナーや市ウェブサイト（<http://www.city.ena.lg.jp>）などで、ご覧いただけます。

□問い合わせ 企画課 26-2111（内線330）



▲調査票（左）と調査結果報告書（右）

調査の概要

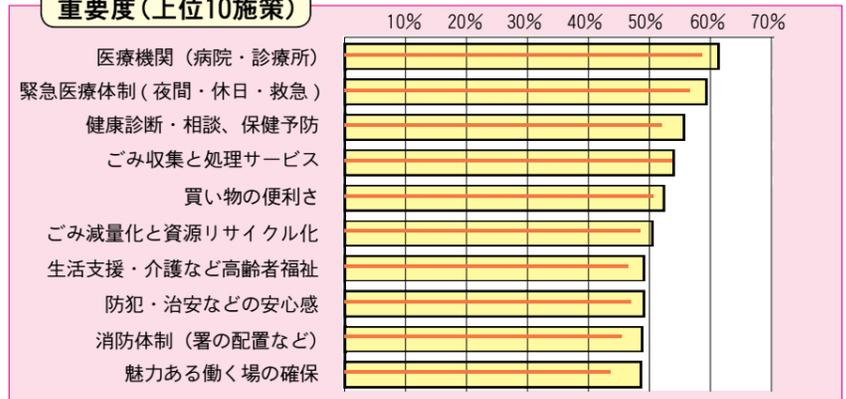
調査対象：20歳以上の市民 2,500人
 抽出方法：無作為抽出法
 調査方法：郵送配布、郵送回収
 調査時期：平成24年12月
 回収結果：1,411人（有効回収率56.4%）
 ※平成23年度回収結果1,479人（有効回収率59.2%）

「ごみ減量化と資源リサイクル化」の満足度は増

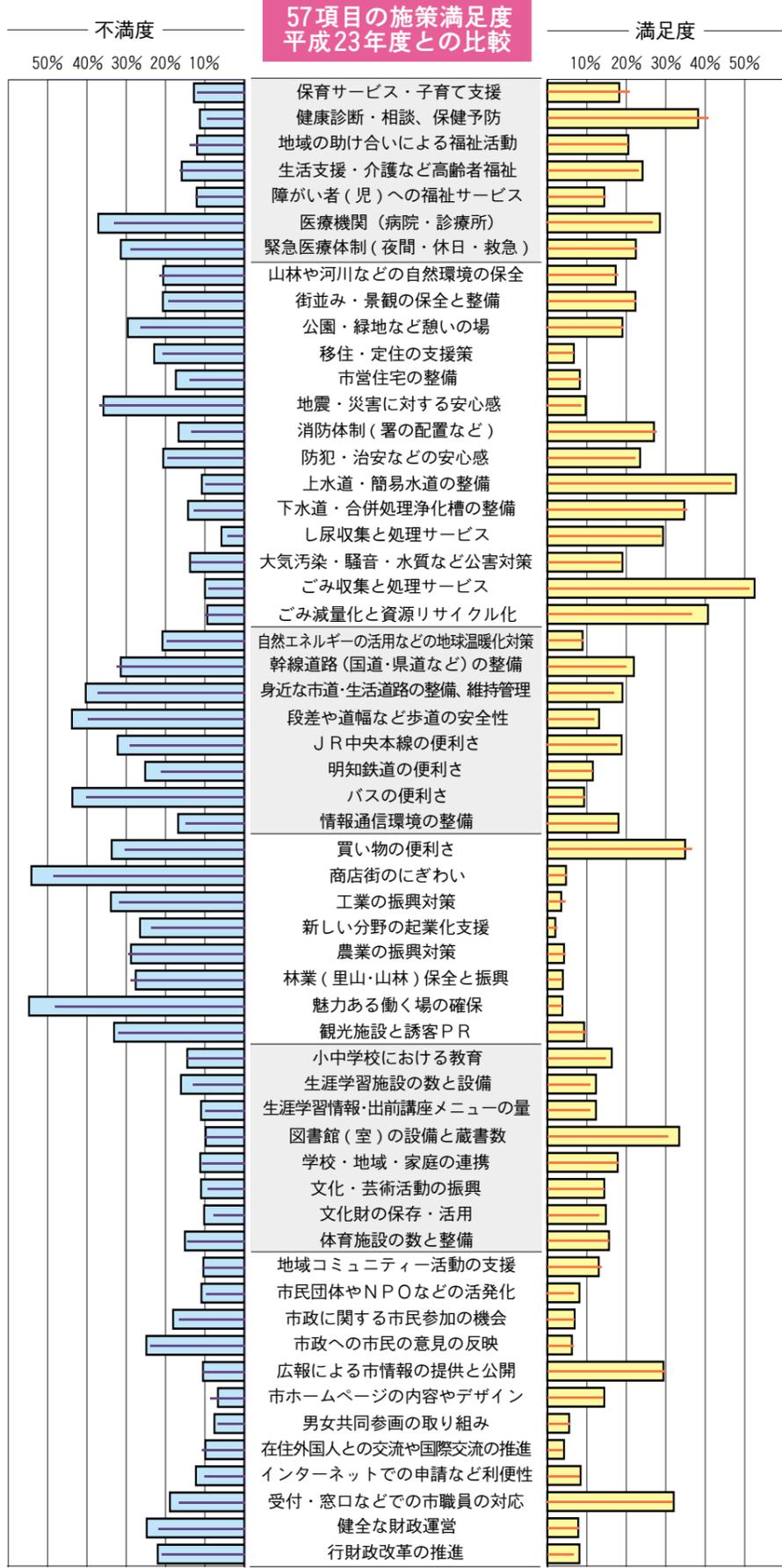
重要度（「高い」と「やや高い」の合算）の高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」が61・6割、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」が59・6割、「健康診断・相談、保健予防」が55・9割、「ごみ収集と処理サービス」が54・2割、「買い物の便利さ」が52・6割、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が50・7割となっています。

満足度（「満足」と「やや満足」の合算）の高い項目は、「ごみ収集と処理サービス」が52・5割、「下水道・簡易水道の整備」が47・8割、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が40・7割となっています。満足度が前年度より高くなった項目は、特に「ごみ減量化と資源リサイクル化」（3・6ポイント増）、「図書館（室）の設備と蔵書数」（2・4ポイント増）

重要度（上位10施策）



今回（平成24年度）の調査結果
 平成23年度の調査結果



で上昇しています。

不満度（「やや不満」と「不満」の合算）の高い項目は、「魅力ある働く場の確保」が54・7割、「商店街のにぎわい」が54・1割、「段差や道幅など歩道の安全性」が43・8割となっています。不満度が前年度より高くなった項目は、特に「魅力ある働く場の確保」

（6・6ポイント増）、「商店街のにぎわい」（5・6ポイント増）で上昇しています。

重点課題は「医療」や「雇用」など11項目

満足度と重要度を指数化し評価したところ、重要度が高く、満足度の低い

「重点課題」に該当したのは、健康福祉分野の「医療機関（病院・診療所）」「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」、都市・交流基盤分野の「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安

全性」「幹線道路（国道・県道など）の整備」「JR中央線の便利さ」、産業振興分野の「魅力ある働く場の確保」、住民参画分野の「健全な財政運営」「行政改革の推進」の11項目です。これらの課題は、満足度が向上するよう、重点的に取り組む必要があります。

募集

精円小鉢作り教室の受講者

おかずを盛り付けるのにちょうどいい精円型の小鉢を2種類の粘土で作ります。初めての方でも安心して作れますので、気軽に参加ください。

□とき 5月26日(日)①午前10時—正午②午後1時半—3時半

□ところ 山岡陶業文化センター

□定員 各15人(定員になり

次第締め切り)

□料金 1000円

□持ち物 エプロン、タオル

□作品の引き渡し 7月上旬

申・問 山岡陶業文化センター ☎ 56-4567

県伝統文化継承者顕彰に推薦する候補者

県では、県伝統文化継承者顕彰の候補者を募集しています。

平成8年度から永年にわたる伝統文化の保存顕彰に尽力している方を表彰。広く県民に知っていただくとともに、伝統文化の振興や継承者の育成を行っています。

□対象 邦楽や日本舞踊、能・歌舞伎、文楽、民俗芸能、伝統工芸、茶道、華道、香道、その他伝統文化の保存や継承に尽力する75歳以上で活動歴50年以上の方。伝統文化で使用する道具や材料の製作者など、伝統文化を支え、保存や継承に尽力する方

□締め切り 5月24日(金)

※次のいずれかに該当する場合は対象外です。①本年度、同じ分野で知事表彰を受ける方②過去に、同じ分野で知事表彰歴がある場合③県伝統文化継承者顕彰を受賞している方

申・問 文化課 ☎ 43-2112 (内線321)

案内

施設管理公社の職員

施設管理公社の職員を募集します。

□職種・定員 ▽パート職員 ①学校給食調理業務1人 ▽嘱託職員 ②③えな斎苑管理業務1人

□給与 公社規程による

□対象 採用予定日現在65歳未満の方(②普通自動車運転免許(MT)取得者)

□採用予定日 ①②は6月26日(水)、③は11月26日(火)(③は2カ月前に仮採用します)

□申し込み方法 ハローワークの紹介状と履歴書を持参して申し込み

□受付期間 5月15日(水)~31日(金)

申・問 施設管理公社 ☎ 25-8213

案内

狩猟免許試験の予備講習会を開催

県猟友会では、本年度に狩猟免許試験を受ける方が関係法令や知識、技能を習得する予備講習を行います。

□とき 6月9日(日)午前9時20分—午後4時

□ところ ふれあい福寿会館(岐阜市数田南)

□料金 7000円(昼食代含む)

□申し込み方法 林業振興課に備え付けの申込書に記入の上、申し込み

□締め切り 6月1日(土)

申・問 林業振興課(内線527)、県猟友会 ☎ 058-272-8398

婚活イベントの実施団体を募集

市では、男女の出会いの場を提供する「婚活イベント」を開催する団体を募集しています。

□対象 結婚を目的とした男女の出会いを提供するイベントを本年度中に1回以上開催し、次の二つに該当する団体

①3人以上の市民で構成する団体(見合いパーティーや結婚支援を業務とする法人は対象外) ②市民の結婚支援を目的としてイベントを開催する団体

□定員 5団体(応募団体多数の場合は、事業計画を審査し、5月中旬に決定します)

□市の支援 実施団体には、事業に掛かる経費の一部を補助し、イベントの周知などの支援をします。

□補助限度額 10万円/団体

□申し込み方法 ①申込書②団体の概要書③企画提案書④事業の概算見積書—を作成の上、持参するか電子メール、郵送で申込む

□締め切り 5月24日(金)必着

申・問 〒509-7292(住所不要) 企画課ふるさと活力推進室 ☎ 26-2111(内線382)、✉ kikaku@city.ena.lg.jp

おわびと訂正

本紙4月15日号12ページでお知らせした5月11日(出)の人権相談は、5月10日(金)午後1時—3時中コミセン小会議室の誤りでした。おわびして訂正します。

問 総務課(内線307)



▲くくりわなの仕組みを説明

案内

体の不自由な方の診断と相談を実施

県身体障害者更生相談所では、体の不自由な方を対象に医療相談や、補装具(車いすや装具など)の交付、修理の相談と判定を行います。

□とき 5月14日(火)午後2時—4時(受け付けは3時半まで)

□ところ 市役所会議棟

□診断科目 整形

□料金 無料

□持ち物 身体障害者手帳、印鑑

問 社会福祉課(内線1334)

(月曜日) 午前9時半—午後4時

18歳以上の知的障がい者

□とき 5月10日、8月1日、平成26年1月23日(木曜日) 午前10時—午後4時

共通

□ところ 市役所会議棟

□料金 無料

□持ち物 印鑑、療育手帳(更新の方)

申・問 社会福祉課(内線134)

適地の条件を解説し、協議会の活動報告や地域の自然エネルギーの利用を提案します。

申・問 環境課(内線183)

ひし屋資料館の茶室で抹茶体験

市茶道連盟に協力していただき、中山道ひし屋資料館の茶室で抹茶を行います。

この機会に、ぜひ、お立ち寄りください。

□とき 5月18日(土)午前10時—午後3時(なくなり次第終了します)

□その他 入館料(大人200円、小中高生100円)が必要ですが、

問 文化課 ☎ 43-2112 (内線321)

各種検定試験を開催

次の通り各種検定試験を開催します。

福祉住環境コーディネーター検定

□とき 7月7日(日) ▽2級 11時—1時半 ▽3級 11時—12時

□ところ 恵那商工会議所

□申し込み方法 東京商工会議所のウェブサイト(ⒽⓉⓅ://www.kentei.org/)で申し込む

□締め切り 5月24日(金)

□主催 東京商工会議所

販売士検定3級

□とき 7月13日(土)午前9時半

□ところ 恵那商工会議所

□申し込み先 恵那商工会議所

□締め切り 6月20日(水)

□主催 日本商工会議所

ECO(環境社会)検定

□とき 7月21日(日)午前10時

□ところ 恵那商工会議所

□申し込み方法 東京商工会議所のウェブサイトで申し込む

□受付期間 5月7日(火)~6月7日(金)

□主催 東京商工会議所

問 恵那商工会議所 ☎ 26-1211

療育手帳に関する診断と相談

県知的障害者更生相談所では、知的障がいがある方の療育手帳の交付や更新の巡回相談を行います。希望する方は、事前に申し込んでください。

18歳未満の知的障がい者

□とき 5月27日、8月19日、11月18日、平成26年2月3日

自然エネルギー講演会と活動報告会を開催

自然エネルギーの利用を推進するため、市小水力利用推進協議会が、講演会と活動報告会を開催します。

□とき 5月11日(土)午後3時—6時

□ところ 恵那文化センター

□対象 どなたでも参加できます。

□定員 45人(定員になり次第締め切り)

□講演会 ▽演題Ⅱ自然エネルギーを地域の力に! ▽講師Ⅱ森大頭氏(NPO法人地域再生機構理事)

□活動報告会 小水力発電の

地籍調査の登記が完了

次の地区の地籍調査が終了し、登記が完了しました。

これで市内の地籍調査の登記完了面積は162・11平方メートルとなり、完了率は35・8%となりました。

三郷町野井1地区

□調査範囲 三郷町野井字分

募集 市内の風景写真

皆さんがおすすめする市内の風景写真を募集しています。本紙では、6月1日号から、市内の風景を紹介するコーナー「恵那写真館」を掲載します。奮って応募ください。

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名③電話番号④写真の場所(町名)⑤お薦めの理由(60字程度)—を記入した用紙を持参か郵送、電子メールで提出する。

□掲載 先着順で毎月1枚ずつ掲載します。

申・問 企画課(内線313)、info@city.ena.lg.jp



観光資源を生かした恵那駅前通りの活性化

恵那駅前道路が美しく整備されており、中山道沿いには飲食店や雑貨店、人懐かしい家並みと迷路のような細い路地など、日本の原風景があります。魅力ある観光資源だと思いますが、歩く人は多くありません。毎年行われている「のれんアートコンテスト」を利用して、のれんを年間通して商店街の軒先に飾れば路地裏が引き立ちます。日本の真ん中という立地条件や中山道広重美術館の活用による文化の発信で観光をアピール。駅前からウォーキングコースをつくり、駅前通りの活性化をしようか。

(市政モニター)

答

駅前を通り、東西に抜ける中山道は、市を代表

する観光資源の一つです。大井宿本陣跡や行在所、中山道ひし屋資料館、中山道広重美術館などの文化的な施設と駅前商店街などが連携して観光の情報発信をしていくことは、活気あるまちづくりにつながると考えています。現在は、商店街連合会や商工会議所などと協力しながら、駅前商店街の活気を取り戻そうと、まちなかを銀座通りで年に4回開催しており、第10回目を今月18日(土)に開きます。旧中山道沿いの家や店の軒下のれんを飾る、のれんアートコンテストも、商店街の方々の協力を得ながら、これまで4回開催してきました。いただいた意見を参考にし、活気あるまちづくりに努めます。

(観光交流室)



▲軒先に飾られたのれん



『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません) □掲載の申し込み・問い合わせ 企画課広報広聴係 ☎26-2111 (内線319)

次米「お田植え祭り」田植えの希望者募集

ことしも、恵那の里、次米のり祭のお田植え祭を開催します。親子で早乙女の衣装を着て田植えをしませんか。

- とき 5月18日(土)午前9時～正午
- ところ 長島町正家地内の斎田(円通寺南)
- 対象 女性の親子で、子どもは小学4年生～中学3年生
- 定員 10組20人
- 料金 無料
- 申し込み方法 ①住所②氏名③年齢④電話番号を電話かファクス、電子メール



▲早乙女の衣装で田植え

ルで申し込む。応募者多数の場合は抽選で決定し、5月13日(月)に連絡します。 □締め切り 5月10日(金) 申・問 恵那の里次米のり祭実行委員会(市観光交流室内) ☎26-2111 (内線532)、☎26-2861、✉shoukokuankou@city.ena.lg.jp

被害者支援活動員の養成講座

犯罪や事件、事故に遭った被害者や家族、遺族の被害回復を支援するため、電話や面接相談、裁判所などの付き添い支援をする活動員の養成講座を開催します。

NPPO法人いわむら一斎塾では、本年度も計6回の講座を計画しました。1回目は、迫力ある津軽三味線「お楽しみ民謡紀行」を楽しんでいただきます。10年前から郷土の先人を顕彰しながら、業績や今に生きる教えなどを「人づくりに生かすため、年数回の公開講座を開催しています。

□対象 25～65歳で月2回程度の相談や支援などの活動ができる方 □定員 15人 □申し込み方法 はがきに、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤「資料請求」を明記し郵送する □締め切り 5月31日(金) 申・問 〒5000-8338 4岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎公益社団法人「ぎふ犯罪被害者支援センター」 ☎058-275-3933

山岡の城跡ハイキングと戦国講演Ⅱ

恵那三学塾山岡委員会で「山岡の城跡と戦国ロマンを追うハイキングと講演パートⅡ」と題して、山岡城跡と下手向城跡の見学と講演会を開催します。 □とき 5月19日(日)午前9時～午後3時半 ▽午前11時～午後3時半 ▽午後11時～講演会 ※小雨決行、雨天時は現地見学中止、9時から講演会を行います □ところ 山岡農村環境改善センター集合 □料金 無料 □持ち物 弁当、雨具など 申・問 山岡コミセン ☎56-2618

物語り作りの基礎講座

恵那えんびつの会では、物語り作りの基礎を学ぶ講座を開催します。

- とき 5月15日、6月19日、7月24日(水曜日) 午後1時半～3時
- ところ 恵那文化センター
- 対象 どなたでも参加できます
- 定員 15人
- 料金 1000円
- 持ち物 原稿用紙、筆記用具



▲笠置山のヒトツバタゴ

□集合場所・時間 ▽さわやかコース(5.2キロ) ▽笠置コミセン・午前8時半 ▽うらくらくコース(9.9キロ) ▽笠置山登山道 記帳小屋・午前10時 ▽お先に失礼コース(0.9キロ) ▽高根駐車場・午前11時

笠置山なんじゃもんじゃウォーキング

本州最高峰に自生する樹齢270年の国の天然記念物「ヒトツバタゴ」や、山頂に自生する「ヒカリゴケ」、ミニサンショウウオの「あんこう」など、笠置山の自然に触れませんか。 □とき 5月26日(日) (少雨決行)

□締め切り 5月21日(火) 申・問 笠置コミセン ☎27-31110

パソコンの6月期講座の受講生を募集

【はじめてのパソコン講座】 □とき 6月4日、11日

18日、25日(火曜日) 午前9時～11時半(全4回) □内容 ウィンドウズXPや7、8を使い、文字入力やマウス、キーボードの使い方など、パソコンの基本操作を丁寧に説明します。 【エクセル入門講座】 □とき 6月6日、13日、20日、27日(木曜日) 午後1時～3時(全4回) □内容 エクセルを使い、基本的な操作から表計算やグラフ機能を学習します。 【共通】 □ところ 恵那文化センター

□定員 18人(定員になり次第締め切り) □料金 700円(別途テキスト代が必要) □申し込み期間 5月11日(土)～5月11日(日) 午前10時から開講日前日まで。初めて受講する方は、5月27日(月)までに申し込みを優先されます。再受講者の受講の可否は、5月28日(火)以降に連絡します。 ※バージョンが分からない方、他のバージョンの方は問い合わせください

申・問 パソコンサポート

障がい者パソコン教室の受講生を募集

パソコン教室を通して、社会参加しませんか。見学も大歓迎です。 □ところ・とき ▽岩村福祉センター ▽5月10日、24日、6月7日、21日(金曜日) 午後1時～3時 ▽市福祉センター ▽5月15日、29日、6月12日、26日(水曜日) 午前10時～正午、午後1時～3時 □対象 市内に在住し、障害者手帳を持つ方、難病疾患の方 □定員 各5人(先着順) □内容 パソコン入門やワード、エクセルの基礎 □料金 250円/回(別途テキスト代が必要です) □持ち物 ノートパソコン ※受講者をサポートするボランティアも募集しています 申・問 障がい者パソコンサポート会(山田) ☎90-7047-5649

移住定住を支援する総合窓口を設置



4月1日から、移住定住相談の総合窓口として「恵那暮らしサポートセンター」を設置。田舎暮らしの課題や移住者の困りごとなどの支援や助言を行います。事務局には、地域おこし協力隊の須原由里加さんを迎えました。

やまおか交流広場の完成を祝う



社会資本整備総合交付金事業で整備されたやまおか交流広場で、3月31日、広場周辺整備の完成を祝うやまおか夢交流フェスタを開催。約800人の参加者は、餅投げや、新しい図書室での読み聞かせと手品を楽しみました。

日本一のクリ園目指し283本の苗を植樹



4月6日、中野方町のグリーンピア恵那跡地で、約80人がクリの苗を植樹。3年目のことしは、クリ園の約1畝に「筑波」「丹沢」「ぼろたん」を283本植えました。平成29年には、クリ園の総面積が20畝になる予定です。

オーストラリア派遣への抱負を語る



市国際交流協会主催の中学生海外派遣事業の開会式と第1回事前研修会が、4月3日、市消防防災センターで開催。市内の中学校から選ばれた20人は、オーストラリアでのホームステイに向け一人ずつ抱負を語りました。



人とまち
恵那の今を
お届けします



ノルディックウォークで三森山を登る
4月14日、農村景観日本一の富田地区からその上流にある三森山を登る「三森山ウォーキング」が開催され、約200人が参加しました。
この日は好天に恵まれ、ふるさと富田会館などをスタートした参加者は、標高1100mの三森山へのウォーキングや、今はやりのノルディックウォークを体験して汗を流しました。ゴールでは、みそ汁の無料配布や餅投げも行われ、参加者はおいしいみそ汁で疲れを癒やしていました。

募集中

6月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、5月15日(木)までに申し込んでください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
企画課広報係
☎26-2111(内線319)

博士さん・由香利さん
強くて優しい心を持つてほしいな♡

武並町
嶋崎 翔馬くん

圭太郎さん・佳子さん
いっぱい笑顔があり、大きくなあれ♪

武並町
鈴木 康介くん

大助さん・聖湖さん
一歳おめでとう！練習の笑顔で家族みんなが笑顔だよ♡

武並町
小栗 練仁くん

孝さん・真田美さん
一歳おめでとう☆お兄ちゃんに負けないくらい大きく育ってね☆

岩村町
原 宗寿くん

邦総さん・麻美さん
生まれてきてくれてありがとう♡葵君の笑顔は最高だよ♡

長島町
酒井 葵くん

弘幸さん・麻里さん
一歳おめでとう☆お姉ちゃんたちに負けないよう力強く育ってね！

東野
松浦 寿樹くん

和恩さん・芳子さん
一歳おめでとう！いっぱい食べて大きくなっ

大井町
丸山 彩葉ちゃん

英樹さん・里末さん
一歳おめでとう。元気に大きくなってね。撮影菜々美。

明智町
丹羽 結菜ちゃん

登美雄さん・美樹さん
いつも笑顔がありがう♡一歳おめでとう！

大井町
後藤 光我くん

勇介さん・友里菜さん
怜示一歳おめでとう！これからも元気いっぱい成長してね！

長島町
土岐 怜示くん

慎悟さん・泰江さん
一歳おめでとう。優しい子に育ってね！

長島町
山崎 叶人くん

真祐さん・未佳さん
誕生日おめでとう、あき♡三姉妹仲良くね♡大好きだよ♡

大井町
矢頭 杏月ちゃん

HAPPY BIRTHDAY
えなの子 笑顔！
5月生まれのお誕生日
おめでとう！

1歳に
なりました





輝く 103
 長島町久須見
 町野 正子さん 67歳



女性の目線で有事への備えを伝える 紙芝居で防災を啓発

「周りの人たちに支えられてこまで活動できた」と話してくれたのは、市女性消防隊長の町野正子さん。

町野さんは、平成19年4月に市女性消防隊が発足したときから隊長を務めている。平成19年10月25日に横浜市で開催された全国女性消防操法大会に市女性消防隊が出場することになり、女性防火クラブで活動していた町野さんに声が掛かった。「当時は縁の下の力持ちになれればよい」という気持ちで入隊した。

22人で発足した隊の隊員は、大会までの約半年間、週3日のペースで夜間に過酷な練習を行った。その結果、各都道府県を代表して参加した47隊の中で、100点満点中98点の最高点を獲得し、見事優勝。県知事から特別感謝状と県民栄誉賞を授与された。「みんなが力を一つに合わせた結果、優勝できたので本当に興奮しました」と振り返る。

しかし、大会優勝後は、火事の現

場に行くわけではない自分たちが何をしたらよいかと悩んでいた。そんなとき、毎年、日本各地で開催されている全国女性消防団活性化大会に参加。他県の女性消防団の活動を聞くうちに手掛かりを得た。紙芝居による防災の啓発だ。早速、全国的女性消防隊から助言をもらいながら紙芝居を作成。昨年から保育園児や小学生らを対象に防災の啓発を始めた。

東日本大震災の後は、どの地域でも防災に対する意識が一層高まっている。こうした女性ならではの防災の啓発も重要性を増す。「もっと隊員を増やし、指差しによる火元確認など、日ごろから身近にできる防火活動や災害時の炊き出しなど、女性の目線で有事への備えを話していきたい」と抱負を語る。

人と人のつながりを大切にしながら、いざという時に何をすべきか伝えるため、今後も地域での防災の啓発を続けていく。

大井小 1年生43人が全校生徒と初対面



大井小学校で4月12日、1年生43人は1年生を迎える会で全校児童に初めて対面。全員でゲームを楽しんだ後、1年生は6年生から歓迎の言葉が書かれたペンダントをプレゼントされ、うれしそうに眺めていました。

地域の案内役から上矢作の良さを学ぶ



4月16日、上矢作小学校では地域の方の案内で、町内の文化財や観光資源を巡り地元の良さを学びました。3、4年生は松並木やおおぶね神社、弁慶スギ、風力発電所を訪れ、案内役の説明をメモを取りながら聞いていました。

2,708人が健脚を競った恵那峡ハーフマラソン



4月21日、第12回恵那峡ハーフマラソンが開催され、過去最多の2,708人が参加。恵那スケート場を発着点にランナーは、ハーフマラソンや3キロロードレース、3キロジョギングで恵那の丘陵地を駆け健脚を競いました。

※コミセン＝コミュニティセンターの略

大正村で着物姿のモガ・モボコンテスト



4月7日、大正村で第4回きものin大正村が開催されました。明智かえでホールで行われたモダンガール、モダンボーイを選ぶ「モガ・モボ大賞コンテスト」には34組が出場。来場者が投票して大賞などを選びました。

奥矢作湖恒例の桜祭りが最終回



串原の大野公園で4月14日、第25回奥矢作湖さくらまつりを開催。約1,200人の来場者は、カラオケ大会や宮路オサム歌謡ショーなどを満喫。桜が老木になり、花の付きが悪くなったため今年が最終回となりました。

ハンカチで鼻と口を覆い避難



三郷小学校で4月17日、命を守る訓練の一つの避難訓練を実施。火災発生時の放送が流れると、児童らはハンカチで鼻と口を覆い非常階段などから次々に避難。全校児童120人は、無事グラウンドに集合できました。



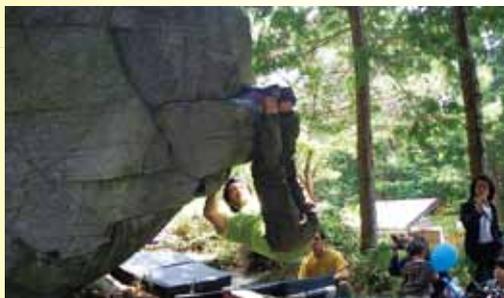
もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
95

笠置山クライミングエリア

日本有数の岩登リエリア



▲オープン時に行われたボルダリングの実演

ひと口メモ

ボルダリングは自然の中で、自分の力を試せるスポーツ。笠置山ではプロクライマーがエリアを開拓しルートを設定した。地域では「笠置山クライミング協会」を立ち上げ、案内看板やトイレの設置、駐車場整備などエリアの整備を行った。

市の北部に位置する標高1,128 ㍎の笠置山の中腹に2009（平成21）年6月にクライミングエリアがオープンした。クライミングとは岩登りのことをいい、中でも笠置山は「ボルダリング」といわれる比較的低い岩（2～4 ㍎くらい）をロープなどの補助なしで登るスポーツに適した岩が約120個ある。世界トップクラスの実力を持つ有名なプロクライマーの小山田大氏もこの笠置山クライミングエリアを高く評価している。国内最難課題の一つなど高難易度から初心者向けの岩まであり、幅広いクライマーが笠置山を訪れる。



▲ロープを掛けながら登るリードクライミングを楽しむ

えな自慢
96

映画「ふるさとがえり」

映画づくりで「心の合併」



▲撮影には多くの市民がエキストラで参加

ひと口メモ

この映画には、市内の消防署、消防団が全面的に協力。延べ1,300人の消防団員が参加するとともに、エキストラ（臨時の出演者）や食事の手配など多くの市民ボランティアが裏方として支えた。

「映画づくりを通してまちを元気にしたい」。そんな思いで始まった市民を中心とした団体・えな「心の合併」プロジェクトが製作した映画。2010（平成22）年に市内全地域をロケ地として多くの市民の参加と協力で撮影された。監督は林弘樹、俳優は、主演の渋江譲二をはじめ、佐藤仁美、高畑淳子、村田雄浩など有名俳優人がプロジェクトの趣旨に賛同して出演した。

物語は、映画の助監督をしている主人公の志半ばとなった少年時代の夢と、20年後の田舎の現実が交錯しながら進む。そしてふるさとへの愛情と葛藤の中から、誰もが持つ故郷への思いや郷土を愛する心を描く。

この映画は、日本全国で上映された。



▲渋江譲二など有名俳優が出演し全国で上映された

次号は5月15日号
発行日は5月15日(水)です

広報えな No.196
2013年（平成25年）
5月1日発行

発行 恵那市役所／編集 企画課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111／☎25-6150／(IP電話)050-5808-9521
http://www.city.ena.lg.jp/ ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』5月1日号、1部当たりの印刷経費は約9.8円(税込み)です。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)

□お問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。